

## 化学部

化学部の主な業務は、一般廃棄物、産業廃棄物、汚染土壌等に関する試験検査及び調査研究である。平成28年度に実施した試験検査等は237検体、計4,688項目で、その内訳は表1のとおりである。

### 1 試験検査実施状況

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、栃木県廃棄物処理に関する指導要綱等に基づく検査等を実施した。

#### 1.1 一般廃棄物関係

一般廃棄物最終処分場の周辺井戸水等及び廃棄物について、10検体、計272項目の検査を実施した。

#### 1.2 産業廃棄物関係

産業廃棄物最終処分場等の浸透水、周辺井戸水、環境

水及び廃棄物等について、223検体、計4,403項目の検査を実施した。併せて精度管理も行った。

#### 1.3 その他

廃液（県内の試験研究機関等の廃液）搬出のために、4検体の分析を行った。

### 2 調査研究

#### 2.1 堆肥化施設の臭気の発生抑制に関する調査

廃棄物処理施設の堆肥化施設について、発酵の過程で生じる臭気の発生を抑制する要因や条件を調査するため、平成27年度から4ヵ年計画で行っている。平成28年度は、対象となる14事業場のうち10事業場の調査を行った。詳細は「V 研究ノート」に記載した。

表1 平成28年度試験検査実施状況

区	分	行政検査		調査研究		精度管理		合計	
		検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
一般廃棄物関係									
	処分場浸出水、排水	2	74					2	74
	処分場周辺地下水、井水	6	174					6	174
	廃棄物	2	24					2	24
産業廃棄物関係									
	処分場浸出水、排水	36	330					36	330
	処分場周辺地下水、井水	60	1,392					60	1,392
	河川水、環境水	39	865					39	865
	廃棄物等			66	1,617	22	199	88	1,816
事故関係									
土砂関係									
放射能関係									
	廃液排出	4	13					4	13
合計		149	2,872	66	1,617	22	199	237	4,688